

RGW-REVERSEは考える

10万円から始められるAI / IoT活用

安全衛生基準が守られない
ヒューマンエラーの原因がわからない

エッジの目で
みはりましょう！

古典手法とAIの融合

同物体検知センサー

- ・カメラに写った同物体を検知します
- ・検知したものを出力します(画像・時刻・位置)
- ・検出したくない位置をマスキング出来ます

ラインカウンター

- ・カメラが撮影する領域にラインカウンターを設置できます
- ・設置されたラインを横切ったものを検知、出力します(画像・時刻・位置)

人検出器

- ・AI技術を活用し、人のみを検知します(人以外の特徴体につきましてはご相談ください)



記録器

撮像記録器

- ・センサーカメラとは別に追加でカメラを取り付けることが出来ます
- ・追加で取り付けられたカメラは動画像を保存できます

ログカウンター

- ・画像センサーとの組み合わせでセンシングされた状況をデータ化することが可能です
- ・お客様のニーズに合わせログの出力形態を変更することも可能です

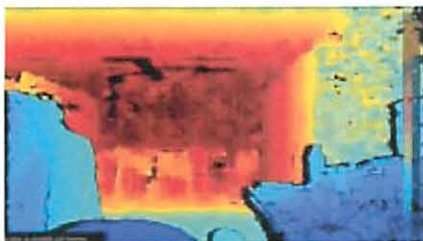
通報機

判断通知

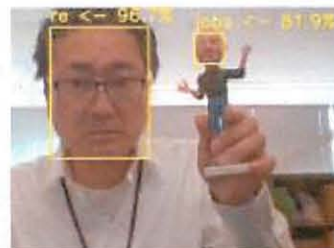
- ・実装されたセンサー、あるいはカスタマイズされたセンサーの出力する値に応じて、判断式を入れることが可能です
- ・判断されたものは現在3種の形で通知することが出来ます
HTTP通信
メール送信
デジタル・アナログ出力

上記機能は安価に試行可能です。更に先を見据えて！

より高度なAI技術を安価に提供できるよう、目下 研究・試行
フィールド実験を行っております。



奥行情報とAI融合



エッジで個人認証

RGW-REVERSEで出来ること

エッジコンピュータが防ぐ人のエラー・モノのエラー

こんな課題を抱えていませんか・・・？

RGW-REVERSEの仕組み

工場のラインにエラーが発生(ログはあるんだけど・・・) 原因がわからない
成果品に不備がある 原因がわからない



本装置が効果を発揮する場所は以下のような課題を持った現場です



データは存在するが・・・

大量のログデータをため込んでいても、
真の原因は現場に行かないとわからない。



ルールは作ったものの・・・

安全衛生基準をいくら高めても、人が人
であるが故、ヒューマンエラーを100%抑
え込むことは不可能です。

全体俯瞰撮影+センシング

→ **原因特定！**

→ **判断自動化**